

講座名称: 「高冷地植物生産生態学演習」
 「高冷地動物生産生態学演習」
 「高冷地生物生産生態学演習」各2単位

担当教員: 春日重光, 荒瀬輝夫, 濱野光市, 鈴木香奈子, 関沼幹夫

対象学生: 全国の大学生

実施時期: 高冷地植物生産生態学演習 2019年8月19日(月)~8月22日(木)
 高冷地動物生産生態学演習 2019年8月26日(月)~8月29日(木)
 高冷地生物生産生態学演習 2019年9月2日(月)~9月5日(木)
 ※全日程, 最終日の終了時刻は13:30の予定です。
 ※応募者多数の場合は, 受講志望理由書等により, 選考いたします。

集合時刻: 各回とも初日の10時(農学部), または12時(野辺山駅)

集合場所: 下記の2カ所から選択

- ①信州大学農学部管理棟前ロータリー(長野県上伊那郡南箕輪村8304)
- ②野辺山駅^(注1)

集合場所へのアクセスは, 信州大学農学部HPを参照。

(<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/access/>)

※各集合場所までは公共交通機関を利用すること。



実施場所: 信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター 野辺山ステーション

住所: 長野県南佐久郡南牧村大字野辺山字ニツ山462-1

TEL: 0267-98-2638(鈴木香奈子)

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/nobeyama.php>



地図:



内容・計画: 信州大学農学部にはハケ岳東山麓の野辺山高原(標高1,351m)に附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター(AFC) 野辺山ステーションがあります。周辺一帯は, 高原野菜の栽培と酪農が盛んな地域で, こうした環境のなかで環境保全型農業に関わる教育, 研究を推進しています。AFC野辺山ステーションでは, 夏季の冷涼な環境で, 高冷地特産のキャベツなどの高原野菜やベニバナインゲンなどの豆類とソバを生産しています。また, 黒毛和種の肥育素牛を生産する繁殖飼育を行っています。さらに, 周辺の野菜生産農家の見学や酪農施設を利用した牛乳の加工(バター等)も体験することができます。本演習では, 教員および技術職員の指導により, 自炊設備を備えた宿泊施設(収容50名)と高冷地フィールド・施設を活用して高原野菜の生産・出荷と加工利用および家畜の飼養管理を体験し, 食料の生産から出荷・販売までの一連の過程を学びます。さらに, 近隣の自然観察を行い, 高冷地の特異な自然環境について学びます。各演習はほぼ同様の内容を取り扱いますが, 演習により重点的に

取り組む項目が若干異なります。各演習の重点演習項目は、高冷地植物生産生態学演習は高原野菜の栽培管理と収穫、高冷地動物生産生態学演習は乳用牛(または和牛)の飼養管理、高冷地生物生産生態学演習は高冷地で栽培される複数品目の作物栽培管理と収穫です(計画参照)。本年度の計画は以下の通りです。また、夕食後は高冷地農業および自然環境全般について研究体験発表会等を行います。なお、天候や野菜の生育状況、受講学生の専攻等により、計画を一部変更することもあります。

【高冷地植物生産生態学演習】

- 1日目: 集合・移動, 昼食後, ガイダンス・近隣農家および出荷施設の見学と説明
- 2日目: 午前 - 高原野菜の栽培管理と収穫
午後 - 高原野菜の栽培管理と収穫
- 3日目: 午前 - ソバの加工実習
午後 - 高原野菜の栽培管理と収穫
- 4日目: 午前 - 野辺山および八ヶ岳周辺の野生生物の観察および調査, 昼食後解散

【高冷地動物生産生態学演習】

- 1日目: 集合・移動, 昼食後, ガイダンス・近隣農家および出荷施設の見学と説明
- 2日目: 午前 - 高冷地野菜の栽培管理と収穫
午後 - 乳用牛(または和牛)の飼養管理
- 3日目: 午前 - 高原野菜の栽培管理と収穫
午後 - 肉用牛(繁殖牛・育成牛)の飼養管理
- 4日目: 午前 - 野辺山および八ヶ岳周辺の野生生物の観察および調査, 昼食後解散

【高冷地生物生産生態学演習】

- 1日目: 集合・移動, 昼食後, ガイダンス・近隣農家および出荷施設の見学と説明
- 2日目: 午前 - 高原野菜の栽培管理と収穫
午後 - 牧場体験および牛乳加工体験(バター等)
- 3日目: 午前 - ソバの加工実習
午後 - 高冷地作物の栽培管理と収穫
- 4日目: 午前 - 野辺山および八ヶ岳周辺の野生生物の観察および調査, 昼食後解散

参加費用: 授業期間中の宿泊費・食事費等4,000円を現地で徴収します。
集合場所までの旅費は自己負担です。

提出書類: 自大学の学務(教務)担当者と相談の上, 下記の書類を提出してください。
下記, IとIIの受入身分の違いによって提出書類が異なるのでご注意ください。
※受入身分について等, 不明な点がある場合は下記問合せ先へご連絡ください。

I. 単位互換協定の協定校の学生等で特別聴講学生となる場合

以下6点の書類を所属大学・学部の学務(教務)係等へ提出ください。

- ①依頼書(履修希望学生の所属大学学部長から信州大学農学部長へ)
- ②履修願(履修希望学生から信州大学農学部長へ)
- ③申告書(履修希望学生から所属大学学部長へ)
- ④受講志望理由書
- ⑤学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー
- ⑥成績証明書

※書類は, 所属大学・学部の学務(教務)係等に問合せください。

II. 特別聴講学生とならない場合

以下4点の書類(①②は、下記URLよりダウンロード)を希望学生自身が送付先まで提出ください。
ただし指導教員、クラス担任等の押印が必要です。

- ①申込書
- ②受講志望理由書
- ③学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー
- ④健康診断書

※様式ダウンロードURL:

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/>

(2019年度「公開農場実習」受講生募集のお知らせ内のリンクをクリック。)



書類送付・問合せ先: 信州大学農学部学務グループ

住所: 〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304

Tel: 0265-77-1309 Fax: 0265-77-1313 Email: agakumu@shinshu-u.ac.jp

提出締切: 2019年7月5日(金)信州大学農学部必着

受講許可: 書類の提出後、受講の可否について本人に通知します。

キャンセルポリシー: 開催1週間前以降のキャンセルについては宿泊費を、1日前および実施期間中のキャンセルについては、参加費用全額を支払っていただきます。

その他特記事項:

◎持参物

初日の昼食、水筒、医療保険証、作業着^(注2)、帽子(収穫作業および日焼け防止用)、手袋(軍手等)、ゴム長靴、カップ、日焼け止め、筆記用具、宿泊に必要な身の回り品(入浴用石鹸、シャンプー、歯ブラシ等洗面具、タオル、着替えを含む)等、参加費+集合場所までの交通費

* 野辺山ステーションは高標高(1,351m)のため朝夕は冷え込むので、防寒着等が必要です。

* 男性用洗濯室・乾燥室、女性用洗濯室・乾燥室(洗剤、ハンガーはありますが、柔軟剤等はありません)が利用できます。

◎宿泊施設・設備

信州大学農学部HP内、野辺山ステーション紹介ページ参照

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/nobeyama.php>



◎食事

各開講期間とも、初日の昼食は各自で用意、持参すること。演習期間中の食事は自炊(班当番制)。

◎欠席について

1週間前までに信州大学農学部学務グループまで申し出てください。

直前にやむなく欠席・遅刻する場合は、各演習の前日(土日を含まない)までは信州大学農学部学務グループに、当日は野辺山ステーション(Tel.0267-98-2638またはTel.080-9287-3980, Tel.090-8723-1740)に必ず連絡してください。

注1: JR野辺山駅まで高速バス(新宿駅⇄野辺山駅間)を利用する場合は、事前に信州大学農学部学務グループまで連絡してください。

* 高速バス予約参照URL <http://www.highwaybus.net/route/yts-sin.php?id=TJ>

注2: 長袖、長ズボン等動きやすく、汚れてもかまわない服装であれば、特に指定はありません。ジャージつなぎ等も可能。

